

Profile

岩口 啓恵さん(61歳)

結婚後に前芝校区へ。2人の子とも
と4人の孫を持つ。「前芝ここにこ
サークル」を立ち上げ、おはなしサー
クル「ほっほの会」や環境保全活動
をする「みなと塾」にも在籍。

海岸・
干潟を学ぶ
前芝校区

潮風を感じる
海岸・干潟に心癒される

とよがわ
豊川河口の三河湾に面している、前芝校区。日
本を代表する干潟としても知られている六条潟
のある校区です。

環境保全活動をする「みなと塾」や、子どもた
ちのためのおはなしサークル「ほっほの会」など
の活動や、校区の魅力を紹介します。



「子どもたちを校区全体で見守っているのが、前芝校区の魅力」

明るく笑顔が印象的な岩口さんは、校区の民生委員や
子育てサポーターとしても活動しています。子どもたちに
読書の楽しさや大切さを知ってほしいと、絵本などの読み
聞かせをしている「ほっほの会」に参加し、「前芝ここにこ
サークル」の立ち上げにも携わりました。校区の中でも
“岩口さんに何か相談すれば解決してくれる!”と思ってい
る方が多く、とても人望が厚い方です。

子どもたちを見守る活動だけではなく、前芝海岸
や六条潟を守る活動もしている岩口さん。「みなと
塾」での活動を通して、前芝の子どもたちに浜の大
切さを伝えています。「前芝は、小・中学校が一貫校
で、みんな知り合いのような感覚。これからも自分ら
しくできるところをやっていきたいなと思っていま
す。」と話してくれました。



保育園での手作り紙芝居や絵本の読み聞かせでは、子どもた
ちとのふれあひも大切にしている。

「前芝ここにこサークル」での一コマ。
子育ての悩みを聞きながらアドバイスも行う。



クラストコ対談
海岸・干潟を学ぶ

前芝 対談



加藤さん 岩口さんは前芝校区になくてはならない人。私が民生委員の会長をやっていたときに「みなと塾をお手伝いしてくれる？」と声を掛けたら、すぐに「いいですよ」と快く返事をしてくれて、すごく嬉しかったです。

岩口さん 「みなと塾」の活動の一つに「はまレンジャー」というのがありますよね。前芝保育園の浜あそびや、前芝小学校の3・4年生が干潟観察をする活動を手伝っています。子どもたちが干潟のことを知って体感するのは大事ななことだと思っていたので、私にできることはどんなことをしていきたいなど。

加藤さん 六条潟は、日本でも数少ないアサリの種子（稚貝）が湧く貴重な干潟です。子どもたちが浜で生き物を探することで、前芝海岸と親しくなって、浜を大事にする気持ちを育ててもらえると嬉しいです。

岩口さん 「みなと塾」の活動の中には、「前芝川灯ろうまつり」もあり、園児や小学生など校区の人たちが手作りした800個以上の灯ろうが川沿いに並びます。この活動を通して、地域とのつながりがさらに深まったなど実感しています。

加藤さん 今後も、前芝校区だからできること、前芝ならではの学びを、海岸・干潟を通して伝えていきたいと思います。

岩口さん この干潟から見る景色は、私たち住民にとっては大切。潮が引いている時と、満ちている時の雰囲気が全く違って面白いです。夕日が沈む瞬間をここから見る人も多く、地元で愛されている浜です。



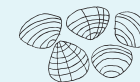
「みなと塾」代表

加藤 正敏さん(77歳)

岩口さん
イチオシ！



前芝校区 おすすめスポット



表情を変える前芝海岸

潮の香りが広がる前芝校区。前芝海岸では、潮の満ち引きで景色がグッと変わります。

潮が満ちると…



潮が満ちると釣りを楽しむ人が多く訪れます。ハゼなどいろいろな魚を釣ることができるので、釣り好きにはおすすめです。

潮が引くと…



特徴的な泥性質の干潟が一面に広がります。貝類やカニ類などの生き物が見られ、潮干狩りを楽しむ方もいます。

岩口さんにとって「支える」とは？



相手の気持ちに寄り添うこと。私は人に恵まれ互いに支え合いながら生活することができています。これからも、さまざまな活動を通して、校区の方々の居場所を作ってまいります。